

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立南大江小 学校	児童数	151名
-------------	-----	------

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.97	19.28	35.10	42.19	48.70	9.69	143.54	20.90	51.69
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	13.97	17.49	39.06	38.92	34.28	10.25	127.29	12.50	50.67
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

今年度の男子の結果では、体力合計点で、大阪市平均をわずかではあるが超えている。特に、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルランでは全国平均も超えており、特に高い数値となっている。女子の結果では、体力合計点で大阪市平均、全国平均を下回っているものの、男子同様、長座体前屈、反復横跳びで全国平均を超えるという共通点も見られる。

質問項目「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」において、男子は「好き」と答えた児童が70.8%（大阪市74.3%、全国72.7%）、女子が46.3%（大阪市54.5%、全国54.1%）であった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は男子が5.9%（大阪市11.7%、全国9.8%）、女子が18.8%（大阪市20.0%、全国17.3%）であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

男女共に、概ね体力・運動能力は大阪市や全国平均と比して高いとはいえない状況である。

昨年度との比較では特に男子で改善の傾向が見られる。上記の様々な結果から運動やスポーツを好むことと、体力・運動能力には正の相関関係があるといえる。男子も、女子も大阪市や全国の平均を下回るが、男子の方がその差が小さく、かつ数値そのものも高い。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子で大阪市、全国平均を下回り、女子も大阪市平均を下回っている。学校外での運動やスポーツに関わる活動は活発に行われており、家庭の教育力が良い影響を及ぼしていることが伺える。

体力や運動能力に関わることは環境や遺伝による影響が大きく、数値そのものが短時日で改善することは難しいかもしれないが、運動やスポーツに親しみ、好む傾向については児童が触れる機会や教育による影響も大きいと考えている。児童らが生涯にわたって健康で生活をするための基盤として、運動やスポーツに親しみ、体を動かすことを好む意欲については、特に重視しその意欲を喚起していく機会を学校生活においても積極的に設けていきたいと考えている。